



楠の葉

佐賀大学同窓会報 第26号

発行日 2017年1月1日

発行 佐賀大学同窓会

佐賀市本庄町1 佐賀大学 菱の美会館内
TEL 0952-23-1253
FAX 0952-25-5700
E-mail dousoukai@sadai.jp
ホームページ http://sadai.jp/alumni/

編集代表者 吉賀 豊司

同窓会は学生の就職をどのように支援できるか

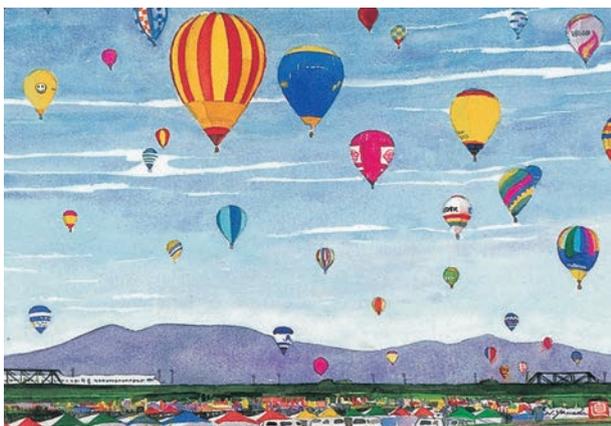
佐賀大学同窓会会長 金丸 安隆 (農学部・S43年卒)

この秋、佐賀県では全国的なイベントが二つ続きました。一つは「佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」。今年は19年ぶりの世界選手権で、世界各国からトップバルーンリストや観光客が大勢訪れました。もう一つは、唐津神社の秋季例大祭「唐津くんち」。直前にユネスコの無形文化遺産に登録内定し、例年以上の盛り上がりとなりました。いずれもテレビ等の全国ニュースで取り上げられ、佐賀で過ごした青春時代と母校を思い出された同窓生もおられるのではないのでしょうか。

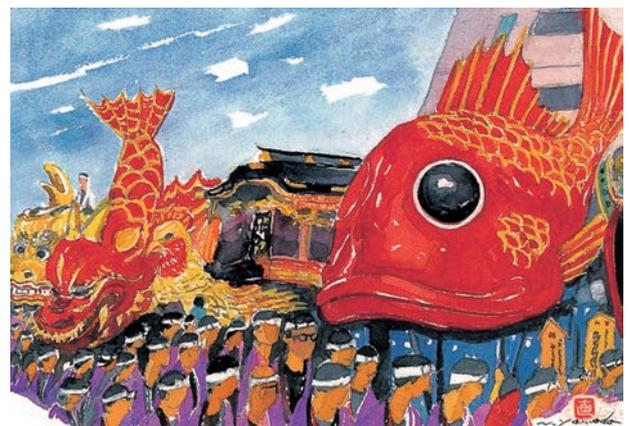
今回は母校の就職の取り組みについて報告します。佐賀大学は、卒業時の就職率100%を目指し、学長の「就職支援に関するヒアリング」を行っています。就職率が文系で88%、理系で92%に達しない学科・課程を対象に、副学長やキャリアセンター長、各学部同窓会長も同席し、「なぜ目標に達しなかったか」「どんな対策を講じたか」「事前・事後の進路指導はどうだったか」などを論議し、改善策を検討するものです。さらに、文科省の「地(知)の拠点大学による地方

創生推進事業」(通称:COC+)の採択を受け、佐賀県内で働き、地域の未来を担う人材を育成する「さが地方創生人材育成・活用推進事業」に取り組んでいます。目標としている「地方就職率10%以上」の実現に向け、学長自ら熱心に地元企業を訪問しておられます。同窓会としても学生の就職支援にどう関わることができるのか、検討していきたいと考えています。

さて、同窓会が力を入れてきた佐賀県内の地区設立は、平成27~28年度中に11地区(設立順に神埼、佐賀、多久・小城、唐津、伊万里、有田、鳥栖・基山、武雄、杵島、三養基、鹿島・藤津・嬉野)を立ち上げることができました。実質1年間という短期間に実現できたのは各地区の世話人さん、特に有朋会の皆様のご支援とご協力の賜物であり、厚くお礼申し上げます。今後とも各地区から同窓会活動全体を盛り上げ、未来へ前進を続ける母校の後押しに一層力を入れたいと考えています。会員の皆様方のご協力をお願い申し上げます。



佐賀インターナショナルバルーンフェスタ (佐賀市)



唐津くんち (唐津市)

画 山田直行

支部だより

佐賀市役所支部総会・懇親会

平成28年8月19日、佐賀市内の「ホテルマリターレ創世」において、佐賀市役所支部総会及び懇親会を開催いたしました。

総会では、支部長から「若い職員が同窓会へ親近感をもつような取り組みも考えていきたい。」と、今後の会員増の必要性が述べられました。

その後の懇親会においては、来賓として、宮崎学長や金丸同窓会長をはじめ11名に参加していただき、支部からは、御厨副市長（支部顧問）ほか15名の支部会員（会

員約110名）が参加いたしました。

来賓の宮崎学長からは佐賀大学の現状や将来構想について、金丸同窓会長からは支部組織の拡大の取り組みについて、お話をいただきました。

佐賀大学、佐賀市、及び筑波大学の3者による藻類培養の共同研究をすすめていくための協定の締結や、10月28日から開催される、「2016佐賀熱気球選手権大会バルーンフェスタ」についての話題で、盛り上がりを見せしていました。

今後も、佐賀大学・佐賀大学同窓会と佐賀市役所支部との更なる連携を図りながら、佐賀市役所支部の会員増にも取り組み、支部の継続と発展に繋げていきたいと考えております。

支部長 藤田 基明（経済・S56年卒）

筑後支部総会・懇親会

平成28年10月15日(土)柳川市において、筑後支部総会・懇親会が開催されました。本部から同窓会会長金丸安隆氏、有朋会会長宮尾正隆氏、楠葉同窓会副会長西川末実氏、農学部同窓会会長長川副操氏、理工学部同窓会理事米満潔氏、がご臨席くださいました。まず金丸安隆会長から、県内外の同窓会の実状、組織がない地域の新設、休会しているところの復活のお話があり、佐大はいま「日本一面倒見のよい大学」を目指している。また、同窓会と学生の関係をより密にするため、優秀な学生の表彰制度も立ち上げた等のお話がありました。その後米満氏のテーマ「大学教育とインターネット」についてやさしい用語を使っの講演がありました。これは全国の国立大学に先駆け佐賀大学が最も早く手がけたもの。「ネット授業」という表現も佐大独自の表現ということ。授業に出なくてもネットで解答し合格すれば試験そのものも受けられることになるが、かえって厳しいシステ

ムであることが分かりました。

懇親会は秋原泰男筑後支部副会長の発声で、本部差入れの佐賀大学の酒「悠々知酔」で「日本酒で乾杯！」にはじまり旧制佐高の制帽をかぶった福田和夫（文理・S29年卒）氏の巻頭言「南に遠く」を全員が輪になりうたい踊り旧友を深めました。

支部長 大村 直（農学・S40年卒）



東京支部総会・懇親会

平成28年11月12日(土)正午から新橋「新橋亭」において、東京支部の総会及び懇親会が開催されました。

当日は久しぶりの暖かい穏やかな、まさに「同窓会」日和でした。

遠路佐賀からご参加いただいた宮崎学長より、大学の現状ならびに将来構想についての熱い語りに、出席者全員が進化・発展する「母校」に大なる期待を抱いた次第です。

また金丸同窓会長からは、各所に新支部が設立され活性化しているとの報告があり、今後の支部運営の教訓と致します。

総勢50名の懇親会は、開会から閉会まであちこちで話に花が咲き、佐賀弁も飛び交う歓声と笑い声が響く、実に和気あいあいとした雰囲気の中で時間が過ぎ、あっという間の2時間でした。

またアトラクションとしての福引では、佐賀の香りがす

るようかん、お茶、海苔等の詰め合わせが当選者に手渡され、該当者は最高の笑顔で応えていました。

最後に寮歌「南に遠く」の巻頭言に続き、歌い踊り大いに氣勢をあげ、学生時代に「タイムスリップ」した感が致しました。

続いて学生歌「楠の葉の」をスクラムを組み大合唱し、15時前に名残を惜しみながら2年後の再会を約束し閉会しました。

支部長 和田 紘一（文理・S40年卒）



長崎支部総会の開催は、「再起動」して2回目

長崎支部の総会は、昨年に「再起動」して今年が2回目である。

平成28年11月4日(金)18時30分～20時30分、ホテルニュー長崎に46人の佐賀大学同窓生が集まった。

今年も同窓会名簿をもとに多くの方にご案内したが、初めのうちは欠席の連絡ハガキが多く少々心配したが、結果、昨年を上回る出席者数となった。

今回の支部総会開催にあたって、佐賀大学同窓会本部の多大なるご支援をいただき、開催当日を迎えたのだが、蓋を開けてみると、十八銀行や親和銀行の関係者にも多数参加していただいた。

したがって、最初の乾杯も、十八銀行の安達圭氏(経済・H3年卒)、最後の締め万歳三唱は、親和銀行OBの中野敏郎氏(経済・S54年卒)をお願いした。

今年は、新しいメンバーがたくさん参加したことで、昨年とは少し違った雰囲気、和気あいあいと、自己紹

介と大学時代の思い出を語ってもらった。会も大いに盛り上がったところで、記念撮影となり、笑顔いっぱいの表情を写真に収めた。

今年2回目の支部総会を開催して、「同窓会は毎年継続する」ことが大切であると新たに感じたところである。来年は、長崎県庁や教職員等の方をターゲットに、さらに多くの支部総会への参加者の獲得をめざしていきたい。

支部長 三藤 義文(理工・S49年卒)



諫早支部総会・懇親会

平成28年11月26日(土)、L&Lホテルセンリユウにおいて開催した。

冒頭のあいさつの中で、諫早支部も結成33年を迎えるが、このところ参会者が減少していることや、高齢のため出席したくても健康状態がすぐれず参加できない旨の返信もかなりあったこと。また、先週あった佐世保支部の同窓会でも同じような悩みを抱えておられることの報告があった。今後は、各支部との交流を持つということや各職場での同窓生の集いなどで同窓会への誘いをお願いするなどの対策が必要ではないかとの話があった。

そのあと、宮尾会長(有朋会会長)より大学の現状の説明がなされた。芸術地域デザイン学部の新設、経済・

理工学部の50周年、ホームカミングデーの実施、などの報告がなされた。

その後宮下副会長の乾杯の音頭で歓談に入った。

今回は、テーブルを各学部ごとに振り分けてみた。各テーブルでは学部の先輩・後輩という間柄なので、話が弾んでいた。

途中、中島理工学部副会長、川副農学部会長よりお話をいただいた。

会も後半になると、お互いに他のテーブルへと話が広がり和やかな懇談であった。

最後に、泉副会長の万歳三唱で締めくくった。参加者は17名(うち本部3名)と少なかったが、女性の参加もあり有意義な懇親会であった。

支部長 長濱 孝基(教育・S38年卒)

大分県支部総会・懇親会

平成28年10月29日、大分市内の「大分アリストンホテル」において、大分県支部「豊後はがくれ会」の総会・懇親会を開催いたしました。

同窓会本部から、光富勝同窓会理事長(同窓会会長代理)をはじめとする4名の来賓にお越しいただき、支部会員22名(うち女性2名)が参加して盛会に行うことができました。

支部長あいさつに続き、来賓の光富同窓会理事長、宮尾有朋会会長、江口楠葉同窓会会長にあいさつをいただいた後に総会を開催。総会では恒例のゴルフコンペや梨の花見会等1年間の経過報告を行い、新たな1年がスタートしました。

続いての懇親会は文理学部OBの仲道先輩の乾杯で開宴。今年は、地区行事などと重複された方が多かったことから昨年に比べ10名余り参加者が少なく、ちょっと残念な年になりました。一方で旧制佐高OBで、大分視能訓練士専門学校長としてご活躍の山之内先輩にご



出席いただき、学生時代の思い出話を語っていただくなど、これまでとはひと味違う会となりました。

余興として第3回「勝ち抜きじゃんけん大会」を開催。今年もみんな真剣で、予想以上の熱戦が繰り広げられました。昨年、初代チャンピオンを破って優勝した安部さんが準々決勝で敗退。今年の優勝は理工学部の本多さんで、初の平成卒のチャンピオンとなりました。

また、恒例の巻頭言「南に遠く」を理工学部同窓会副会長の島先輩の音頭で合唱。学生時代に巻頭言をやっ

たことはなかったとのことですが、力強い音頭でリードしていただき、大いに盛り上がりました。

学生時代の昔話や近況報告、仕事や趣味の話など楽しい会話に酒もすすみ、あっという間に時間は過ぎて終宴の時間。来年の総会での再会を約束して散会しま

した。

まだ見ぬ大分県支部会員の皆さん、来年は是非お会いしましょう。

事務局 佐藤 吉昭 (農学・H元年卒)

吟詠・舞踊「笑み節」で盛会 (佐世保支部)

第19回を迎えた佐世保支部「むつごろう会」の定例会は、11月19日(土)佐世保駅前の「レオプラザホテル」で開催しました。当日の参加者は来賓6名を含め計24名、案内した会員の10分の1でした。例会には本部から同窓会理事長(農学部51卒・教授)ほか、各学部から4名の会長、副会長それに諫早支部の長濱会長にご参加頂きました。総会では「むつごろう会」の臼井会長から近況報告、今後の同窓会の課題、各同窓会との連絡、協力の必要性など支援要請があり、また「伊能忠敬」記念碑建立に発起人として尽力された佐世保支部の大先輩である平川定美氏の功績について披露がなされました。続いて来賓紹介、同窓会理事長からは大学の近況、在校生に対する同窓会の支援活動などについて説明があり、その後講演会に入りました。

「ベスビオ山(ポンペイ)の大噴火の歴史に学ぶ」と題し、今から1937年前(日本の弥生時代)にイタリアのナポリ地区の開かれた文化、文明を一瞬にして壊滅したポンペイの大噴火とその後の遺跡群について、現地で撮影した写真のスライドをベースに約50分間の講演でした。続いて懇親会に入り、臼井会長の挨拶の後、大学時代の思い出として同窓会の為に、最近作詩した漢詩「先見蘇

生の鞭(鍋島閑叟に学ぶ)を朗々と吟じました。懇親会では各来賓から各学部同窓会の近況説明、続いて参加者の自己紹介、近況報告があり、和気あいあいにごしました。中でも会を盛り上げたのは、美しい和服姿の寺崎ヒサ子さん(教育34卒)の素晴らしい舞踊「笑み節」のご披露でありました。寺崎さんは元相浦小学校校長のご経歴。「人生を明るく、皆が幸せに暮らせますように」という願いをこの踊りに込めたのだそうです。

懇親会では、本部ご寄贈の「悠々知酔」の銘酒で盛り上がり、最後は森達郎副会長(教育35卒)が、会員の今後の健康、会の発展そして2年後の再会を期して万歳三唱で盛会裏に幕を閉じました。

支部長 臼井 寛 (文理・S34年卒)



沖縄支部懇親会 OKINAWA

平成28年6月25日(土)、那覇市内の「サザンプラザ海邦」において沖縄支部懇親会を開催しました。当日は、支部会員12名に加え、本部から光富佐賀大学同窓会理事長、宮尾有朋会、江口楠葉同窓会、穂屋下理工学部同窓会、川副農学部同窓会、の各会長に来賓としてご参加を頂きました。

支部長より、先に開催された「経済学部50周年記念式典」に46年入学の細原 諭、「理工学部50周年記念式典」に50年入学の金城 毅の両名が参加した事、最近の支部懇親会の参加者がほぼ固定されつつある現状と今後の取り組みの強化の必要性などの報告があり、光富理事長の乾杯の音頭で宴が始まりました。

その後、ご来賓からは大学の現状や各同窓会の近況報告、支部会員の自己紹介を兼ねた近況報告、学生時代の懐かしい思い出などが語られ和やかな懇親会となりました。

最後はもちろん「南に遠く」で締めくくり、梅雨明け直後の暑い那覇の夜へ繰り出しました。

追伸

沖縄支部では、沖縄在住のOBの情報を求めています。同期の方や親しくされている方で沖縄勤務の方などが居られましたら、ぜひ沖縄支部まで情報をお寄せ下さい。了解を頂いて、こちらから懇親会参加を呼び掛けてみたいと考えています。

支部長 平良 克次 (経済・S46年卒)



佐賀県内地区会報告

鳥栖・基山地区会発足総会・懇親会

平成28年7月3日(日)、11時30分より、基山町民会館において、「佐賀大学同窓会鳥栖・基山地区会発足総会並びに懇親会」を開催しました。

本部より、金丸佐賀大学同窓会会長をはじめ、各学部の会長5名のご臨席を頂きました。

世話人を代表して、檜崎タキコ氏(昭41教育)から地区会設立に向けての経過などについて説明を行い、同窓会本部を代表し、金丸会長から地区会設立の目的、今日までの取組等についてのご挨拶を頂きました。

当日は、有朋会、楠葉同窓会、農学部同窓会、菱実会、医学部同窓会それぞれの代表の出席を頂きました。

総会は、議長に尼寺学氏(昭52経済)が選出され、規約の承認に続き役員を選出により、会長に鈴木正美、副

会長に古賀俊光氏(平4医学)、同じく副会長に堤泰子氏(昭49農)、事務局長に渡辺哲弘氏(昭52教育)が決定されました。

引き続き懇親会に移り、古賀俊光副会長の乾杯で始まり来賓として参加頂いた各同窓会会長様からそれぞれの同窓会の現状等についてのご挨拶を頂き、懇親に移りました。

久しぶりの再会にあちこちで、歓談が続き、学部を超えての親睦と交流の機会となりました。

また、参加者最年長の竹下ナカ子氏(昭29文理)から、元佐賀大学学長楠田久男先生直筆の「不知火寮鎮魂賦」が配られ、それぞれ学んだ時期は違っても、学生時代が思い出されました。

これは、楠田先生60歳代の作と思われ、不知火寮取り壊しの時期に作られたのではと考えられます。

次回の再会を楽しみに終了しました。次回は、平成29年7月9日(日)、サンメッセ鳥栖で行いますので、会員の皆さん方をお待ちしています。

鳥栖・基山地区会 会長 鈴木 正美(経済・S48年卒)

三養基地区会発足総会・懇親会

佐賀大学同窓会「三養基地区会発足会」の総会も平成28年8月7日(日)11時30分より「吉野ヶ里温泉」で開催することが出来ました。本部より宮尾副会長様をはじめ4名のご来賓、そして当会員13名という役員中心の総会となりました。しかし、これまでにいたる経緯については、特に西牟田運営委員長の熱意と行動力の賜物であることに強く感謝をしているところであり、これまでの経緯について簡単に紹介させていただきます。

三養基地区は、みやき町と上峰町の2地区だけであり、先ず発足の原点となる世話人の選出に当たって「みやき町」からは合併前の旧3町より各2名ずつ、そして上峰町からは各学部より2名ずつの選任を基本に進めて行きながら、13名の世話人会が出来上がりました。なお、地区総会のスタートラインに立ったという思いから、出来るだけ若者を選任して行こうという申し合わせも含めながら進めてきたところです。そして、先ずは世話人会の結束を深めようということで懇親会を行い、金丸会長様、宮尾副会長様にもご出席を頂き意思疎通を図ったところであります。

それからいよいよ行動開始に入り世話人会を重ねてきましたが、三養基地区の発足会をいつ頃・どういう形で始めるかを中心議題としながら当地区の規約・役員案等、先進地区を参考にしながら数回の世話人会を重ねて

きました。やはり中心課題は、発足総会への参加者を地区内の会員に如何にして呼びかけるかでありました。先ずは、「各世話人の知り合いや組織活動の折に(例:退職校長会の行事等)呼びかけて行こう。」と決まりましたが、大学全体の総会という意義・目的が伝わらなかったことも現状であり、本部からの案内をお願いしたところでした。

結局、発足総会の参加者は13名に留まりましたが、懇親会では参加者相互の意見交換の中で、次回からは本地区独自の案内状を作成して出来るだけ多くの会員参加を期待しようということで盛り上がり、楽しく有意義な時間を閉めるに至りました。

三養基地区会 会長 八谷 日出夫(教育・S36年)



杵島地区会発足総会・懇親会

平成28年8月7日(日)11時30分より、杵島郡白石町「味処 やかた」において、「佐賀大学同窓会杵島地区会」の発足総会・懇親会を開催しました。

会には、佐賀大学同窓会本部から金丸同窓会会長、江口楠葉同窓会会長、穂屋下理工学部同窓会会長、溝口農

学部同窓会副会長、中尾佐賀医科大学・医学部同窓会会長代理にご臨席いただきました。

総会では、金丸同窓会会長から「地区会」設立の趣旨・目的や佐賀大学の動向、大学の諸事業などを説明していただきました。次に、地区会の規約・役員を提案し、出席者から承認を受け、「佐賀大学同窓会杵島地区会」が設立できました。記念写真の撮影の後、懇親会に入り、

来賓の金丸会長より地区会の設立への祝辞と各同窓会の活性化、大学の存続などを含めたご挨拶がありました。出席者は、同窓会としての関わり方を考えさせられたと思います。

その後、各学部同窓会の近況報告をしていただきました。

発足会ということで、今回の出席を躊躇されたり、見合わせた方も多かったと聞き及んでいますが、次回からの参加者の増加に努め、参加が多くなることを期待しています。

杵島地区会 会長 田島 哲郎 (教育・S47年卒)



武雄地区会総会・懇親会

平成28年8月21日(日)11時30分より、武雄市の「八百重」において、「佐賀大学同窓会武雄地区会」の発足総会並びに懇親会を開催しました。

今回の総会には、有朋会、楠葉、医学部、理工学部、農学部の5学部より、会員22名、それに佐賀大学同窓会の金丸会長様、各学部同窓会会長・副会長様方6名にご出席いただきました。

まず、総会において、金丸同窓会会長様より、挨拶を兼ねて、「地区会」設立の趣旨・目的について、説明をしていただきました。これを受けて早速、「佐賀大学同窓会武雄地区会規約」並びに役員の方の提案をし、出席者全員の承認を受けることができ、無事「佐賀大学同窓会武雄地区会」を設立することができました。

懇親会では、佐賀大学同窓会会長金丸様から来賓のご挨拶をいただき、その後、各学部同窓会の本部代表の方から、各部の同窓会の現状と取り組みについて報告をしていただきました。懇親会の中では、参加者全員の自己紹介も行いました。佐賀大学を卒業しているものの、学

部や卒業年度が違うため初めて出会う人も多く、自己紹介を行ったことでお互いの親睦を深めることができました。今回の会員の参加者は22名でしたので、来年度は総会・懇親会だけでなく、研修会等を含めて開催し、さらに多くの会員の皆様に参加していただきたいと考えています。

そして、この総会・懇親会を機に、学部を超えて親睦と交流を促進することで、少しでも母校の発展に寄与していきたいと思っています。

真夏の暑い中にご出席いただいた皆様、誠にありがとうございました。来年度もよろしく願いいたします。

武雄地区会 会長 稲田 義邦 (教育・S50年卒)



鹿島・藤津・嬉野地区会総会・懇親会

鹿島・藤津・嬉野地区の発足総会が平成28年9月3日に鹿島家督屋で開催されました。私はこれまで、佐賀大学同窓会には失礼ばかりしていましたので、今回は出席させて頂きましたところ、思いがけず、支部の会長を務めるようにすすめられ恐縮しております。



現在の職業は神職ですが、佐賀大学では、文理学部・法律経済学科・経済学専修卒業でありました。

卒業後、しばらく会社勤めをしまして後、現在の祐徳稲荷神社に勤める事になり、改めて神職の資格を取り、

昭和63年から父の後を継いで宮司を務めております。

祐徳稲荷神社は、私の11代前の先祖が創建した稲荷神社でありまして、早世した祖父以外、代々祐徳稲荷神社に奉仕しております。

祐徳稲荷神社の参拝者は、佐賀県以外からも含め年々増加しておりますが、最近タイや台湾、中国、韓国等の外国人もよく見かける様になりました。

同窓会の皆様も鹿島方面へお出掛けの折は、どうぞ神社にもお立寄り下さい。お茶ぐらいお出し致します。

私達の在学当時の思い出話や、佐賀大学の現況、各学部の御活躍状況等知りたいと思います。同窓会の会員皆様の御健勝、御活躍を御祈念致しまして、御挨拶とさせていただきます。

鹿島・藤津・嬉野地区会 会長 鍋島 朝倫 (文理・S36卒)

神埼地区総会・懇親会

平成28年10月2日(日)に割烹「菊水」において神埼地区総会・懇親会を午後5時より、宮崎学長様、金丸同窓会会長様、医学部同窓会会長西村様、理工学部同窓会副会長島様をご来賓としてお迎えして開催しました。

今回は前半を総会、後半を交流会として位置づけて約3時間の流れを作りました。まず来賓紹介の中で宮崎学長より「祝辞と大学の現状について」お話をいただきました。続きまして、今回の目玉として教育学部47年度卒業の山田直行様より「佐賀ふるさと讃歌—ふるさとスケッチより—」と題して約1時間ほどこれまで佐賀新聞

に掲載されました山田先生の力作をユーモアを交えて、ご紹介いただきました。この後、事務局より活動報告並びに地区会規約の一部改正を提案して前半を終了しました。後半の交流会ではムードを変えて、ご参加の最長老であった小池様の乾杯の音頭で開宴しました。4学部同窓生から祝吟・尺八・三線の演技を提供していただき、会員一同、それを拝見しながら、それぞれの集まりで美味しい料理・飲物を堪能しました。

この神埼会は基本的に会費徴収はしないと規約に定めましたので、これから先、若い人が参加しやすい、参加して良かったまた、同窓会の持つ「知的集団の良さ」を感じ取れる集まりになればと幹事・運営委員一同、心を一つにして行動しています。この後、宴の後半には、佐賀大学寮歌の「巻頭言」並びに歌「南に遠く」を神埼会のメンバーで同窓会法被を着用して、踊り・歌いながら、ご披露しました。これからは「この神埼会で一緒に遊びましょう」という肩の凝らない、会運営を心がけな

がら、いろいろな見分を拡げて、また一緒に行動しながら、この会が「皆様を結び付ける接着剤か磁石にでもなればという気持ち」で、次回を楽しみに「神埼会」を終了しました。

神埼地区会 会長 古賀 季夫 (経済・S50年卒)



伊万里地区会 第2回総会・交流会

平成28年11月20日(日)、伊万里公民館講堂において、佐賀大学同窓会伊万里地区会の第2回総会・交流会を開催しました。

今回は、同窓会より金丸安隆会長をはじめ、各学部の同窓会役員、伊万里地区会員33名の参加者を得て、盛大に開催することができました。

総会では、会員発表として、黒川小学校校長、前田弥三先生(教育・S54年卒)に、「教育は人なり」と題してご講演をいただきました。続いて、交流会では、顧問の岩永憲一良氏(教育・S34年卒)の仲間でのハーモニカによる伴奏で全員で「ふるさと」を合唱しました。今回設定した「お楽しみ抽選会」等で盛り上がり、思い出に残る交流会となりました。

この度は、有朋会伊西支部から本会に対して活動助成

金をいただき感謝しているところです。この場を借りまして、厚くお礼を申し上げます。

これからも、学部を超えての親睦と交流を促進することで、母校の発展に寄与するとともに、地域の活性化に貢献していきたいと思っております。

まだ出席いただけていない伊万里地区の皆さん、来年は、是非お会いしましょう。

伊万里地区会 会長 小杉 道久 (教育・S42年卒)



平成28年度佐賀県内全地区の役員会並びに世話人会開催

平成27年8月1日、初めての全地区の世話人会開催はビクビクものだった。

本来なら80名の世話人全員参加が目的だったが実際は33名と少なく、各地区に分かれて打ち合わせもできず、合区の打ち合わせとなった地区もでた。

このため13地区の計画だったが合区のため11地区と変更された。しかし、参加者は少なかったが平成27年度中に5地区会が設立された(神埼地区、伊万里地区、佐賀地区、唐津地区、小城・多久地区)。

平成28年度の第2回全地区の役員会は、まだ誕生したばかりの地区会の運営やこれから設立する課題についての会議が目的だった。問題は各地区から何人参加してもらおうかだった。結局、各地区2~3名とし、異なる学部から参加して欲しいと要請した。これは異なる学部の方ができる限り目的を共有し、地区会を設立したり運営したりして欲しいとの願いからだった。開催期日

は7月31日とし、参加者はなんと29名だった(各地区2~3名として22~33名)。万歳だ。

当日は1. 学長による大学の現状 2. 各学部同窓会長による現状報告 3. 設立地区報告 4. 設立予定地区報告 5. 質疑応答、意見交換 6. 各地区役員とサポーターとの意見交換で終了し、全員で昼食をとり解散とした。有意義な合同会議だった。

平成28年度になり設立された地区は有田地区(6月26日)、鳥栖・基山地区(7月3日)、三養基地区(8月7日)、杵島地区(8月7日)、武雄地区(8月21日)、鹿島・藤津・嬉野地区(9月3日)となり11地区全て完了した。このように正味1年で11地区会が設立できたのは各地区の世話人の皆さんと有朋会の役員の方のご支援とご協力によるものと厚くお礼を申し上げます。

金丸 安隆 (農学・S43年卒)

同窓会NOW

有朋会（教育）

佐賀大学の充実した教員養成システム

私は、今年の4月から県の人事交流で佐賀大学に勤務しています。11月12日(土)・13日(日)は毎年恒例の大学祭で、佐賀大学はたくさんの人でにぎわっていました。朝から甘い匂いやソースの匂いが漂い、様々なジャンルの音楽が鳴り響き、お揃いのユニフォームを着た学生たちが、赤く染まりかけたメタセコイヤの下をせわしく動き回っていました。

「大学でどんな仕事をしているの?」とよく周囲から聞かれるのですが、私の大学での主な仕事は、教員養成に関わる仕事です。4月からの半年間、今の佐賀大学の教員養成システムには驚きの連続でした。教育実習はもちろん、教育ボランティア活動やフィールド演習など、私の大学生時代(30年前)と比べると大幅に教育現場での学びの機会が増えてい

ます。そして、佐賀県内の多くの先生方に指導をいただき、「教師へのあこがれの思いが膨らみました。」「知識と実際にできることは全く違うことがわかりました。」「今の気持ちを忘れず教員になるための努力や経験を重ねていきます。」と、志高く教職を目指す学生として教育現場から大学に戻ってきます。この場を借りてお礼を申し上げます。

私は今、佐賀の地で将来を大いに期待できる学生たちが育っていることを実感しています。多くの教育現場から「佐賀大学の学生に来てほしい。」とお願いいただけるように、佐賀大学の教員養成システムの中で力を尽くしていきたいと思っています。



中村 尚志

同窓会NOW

楠葉同窓会（文理・経済）

平成28年度楠葉同窓会交流会に参加して

日本政策金融公庫 佐賀支店長 中谷 正一（経済・S63年卒）

皆さん、こんにちは。昭和63年経済学部経済学科卒業の中谷正一と申します。卒業後、日本政策金融公庫（当時は国民金融公庫）に就職し、全国転勤を経て今年4月に佐賀支店長として赴任いたしました。佐賀には、卒業直後に勤務して以来、25年ぶりの凱旋(?)となりました。大変懐かしい思いで県内各地を飛び回る毎日です。

今回の楠葉同窓会交流会では、佐賀銀行の堀田支店長代理（経済・H17年卒）、佐賀共栄銀行の石隈主任（経済・S21年卒）とともに、金融関係に興味のある2年生、3年生の皆さんとディスカッションする機会をいただきました。学生の皆さんは、最初はやや緊張気味でしたが徐々に打ち解け、各金融機関の業務内容、社会人としての苦労話、これから就職

活動を進めていくにあたっての心構えなど、様々な質問をいただきました。私を含めて3人の先輩からは、建前をこえた本音トークもかなり炸裂し、大いに盛り上がりました(笑)。同窓の後輩に対して、少しでも役に立つ話をしてあげたいという思いがそうさせたのだと思います。少しでも皆さんのステップアップにつながれば幸いです。

同窓会として、このような形で在学生の就職支援を行うことは非常に意義深いことだと思います。同時に私たちOBも、若い学生諸君から大いに刺激を受けました。これからも佐賀大学同窓会の活発で前向きな活動に期待いたします。今後ともよろしくお願いたします。



同窓会NOW

佐賀医科大学・佐賀大学医学部同窓会

九州で唯一の女性泌尿器科医が開設したクリニック

なかおたかこクリニック 院長 中尾 孝子 (医学部・H11年卒)



平成24年4月に地元武雄市で泌尿器科のクリニックを開業しました。女性医師による医療機関の開設は県内でもあちこちで見かけますが、泌尿器科に限るとまだ全国的にも両手に余るほど少なく、九州では未だに1件のみです。泌尿器科医全体でみると、女性医師は増加傾向にありますが泌尿器科医全体の5%程度、全国に400余人で、その多くが東京をはじめとする大都市に集中しています。開業例も札幌、横浜、大阪、岡山などで、私のように人口5万足らずの地方都市で開業している女性泌尿器科医の診療所は他にありません。

泌尿器科に女性医師が少ないことの大きな理由のひとつは、やはり患者さんのニーズです。泌尿器科は、医学的に言うと「後腹膜臓器+男性生殖器」を

扱う診療科ですので、多くの泌尿器科では7~8割が男性患者で、おのずと診療も男性医師の担い手が多いのですが、一方で女性の泌尿器科患者が女性医師の診療を希望する傾向は有意に高いことが示されています。私は男性の診療も行っていますが、患者さんの6割は女性で、武雄市外はもちろん、福岡県や長崎県からの受診もあり、少しは地域の皆さんのお役に立てているのではないかと自負しています。

もうすぐ5年、これまで勤務医として診てきた疾患とはまた違う様々な病気があり、まだまだ驚いたり勉強させられたり毎日の毎日ですが、同時にやりがいも大きく、このような仕事ができることに日々感謝しています。

同窓会NOW

菱実会 (理工学部同窓会)

会長就任の挨拶「50周年を節目に心機一転させたい菱実会ですが…」

菱実会 会長 穂屋下 茂

今年の4月1日から理工学部同窓会(菱実会)会長を務めております。よろしくお願ひ致します。

佐賀大学理工学部は、今年創立50周年を迎えました。若いと思っていた理工学部が、いつの間にか壮年期を迎えていたのです。果たしてそれ相応の学部になっているのでしょうか。卒業生の一人として、先が見通せない時代だけに不安が募ります。理工学部同窓会も、5学部同窓会の中で一番大きな同窓会になりました。同窓会としてその活動は責任重大ですが、同窓会として何ができるか「解を見いだせず」の状態です。

今年度は「理工学部創立50周年事業」を支えたこともあり、少しの満足感ではありますが、定常活動に関しては物足りない感じは否めません。会費の徴収、理事会運営、佐賀大学同窓会支部会・地区会の開催・参加、理工学部同窓会名簿管理・発行、会報『菱の実』発行、在学生支援に対する理工学部キャリアデザインセミナー(従来の学科別就職懇談会)開催、

理工学部成績優秀者表彰共催などを行っています。そして、平成28年度からは、理工学部同窓会独自の「菱実会賞」を設けました。菱実会賞は、佐賀大学理工学部の学生で同窓会会費を納入した者を対象に、社会活動、課外活動、学術研究活動等において、成果や評価が顕著であると認められた場合に授与することになりました。

今後は、もっと佐賀大学の発展に寄与すべく、理工学部同窓会の活動を盛り上げていきたいと思ひますので、卒業生の皆様方のご協力をお願い致します。



近況報告に代えて

同窓生の皆様には、それぞれの分野でご活躍のこととお喜び申し上げます。私も41年にわたった農学部勤務から解放され、もう3年の月日が流れてしまいました。この間、心機一転を図るために、住み慣れた佐賀市を離れ、縁もゆかりもない福岡県春日市に居を構えました。現在は週半分の短大等での講義と、猫の額ほどの家庭菜園等を楽しんでいます。また、卒業生のクラス会への招待を受け、懐かしさと同時に、それぞれの多方面での活躍を耳にするにつけ、本当に教員として勤めたことの喜びを改めてかみしめています。

最近、食の大切さが見直され、私立大学において農学部が創設されるなど、食の基本となる農学が見直されてきており、喜ばしいことだと思います。法人化後、評価と改組が必須となっていますが、その際、講座や研究分野の名称を、農学部が立脚している農業と言う産業に基いて、昭和の農学部創設当時の名称に戻るともかえって新鮮な感じとなり、一計かもしれません。現在の農学部教員の方々の頭の片隅にでも入れていただければ幸いです。

佐賀大学名誉教授 藤田 修二

です。また、小島先生を中心に農学部教員OB会を結成し、学部の外から応援をしていくことになりました。その時の写真が添付のものです。

農学部を含めた佐賀大学のご発展と同窓生の皆様の益々のご健勝とご活躍を祈念して、近況報告に代えさせていただきます。



農学部教員OB会の集合写真

青春寮歌祭に参加して

菱実会 島 公二武

佐賀青春寮歌祭は今回で24回目になるそうだが、全く知らなかった。毎年1回、佐賀市のエスプラッツホールで開催されてきたようだが、大学を離れていた者には変わりつつある大学のことは分からなかったのである。

今回の寮歌祭は出場校25校、歌の数は58曲、全国各地の旧制高校主体の寮歌祭が幕を降ろすなか、佐賀の寮歌祭は新制の大学や私立大学なども含め、また寮歌のみならず校歌・応援歌・逍遙歌などにも広げられており今後も継承されるであろう。

受付を済ませホールに入ると、舞台の周りは沢山の幟で埋め尽くされ意気高まる雰囲気だった。時間になり開会式もなく、トップバッターの北海道大学が壇上へ上がり、寮歌「都ぞ弥生」を歌い寮歌祭は始まった。縮まらないなと思っていると学生帽子と学生服に黒いマントを羽織った60過ぎの男性が舞台へ上がり、巻物をパッと投げ広げ檄文を朗読、あたかも弁慶の勸進帳を読み上げるかの如く、これぞ寮歌祭だと言わんばかりであった。

その後、次々に寮歌が披露された。九工大明専会はスクールカラーのオレンジのはっぴ姿の人々の中央に、羽織り・袴に高ボコ下駄姿の若手が力強く巻頭言を述べる場所は圧巻であった。10校ぐらいおいて名城大学が登場した。これまた、羽織り・袴姿の70ぐらいの老齢ではあるが、熟練された柔らかい手と身のこなしで、名城節「ここは尾張か」を舞う姿は流石年の功であった。次は東京農大、学生服姿で両の手に大きな大根を持ち、振り回しながら大太鼓の音と伴に踊る姿は聞いてはいたが楽しい

ものであった。暫くおいて我が佐賀大学の登場である。合唱団コーロ・カンフォーラの応援で「楠の葉の」を爽やかに綺麗な声で歌い上げた。続いてこの日のために名古屋支部から駆けつけられた先輩に巻頭言を述べていただき、不知火寮歌「南に遠く」を歌い・踊り舞った。

更に寮歌祭は続き、締めはエンジのはっぴ姿で現れた早稲田大学である。校歌「都の西北」と応援歌の後、第二校歌と呼ばれている村田英雄の「人生劇場」は口上入りで素晴らしいものであった。数節の曲の合間に長く意味深い口上が入るというもので、一つ一つの言葉を聴き考えたいものだった。こうして寮歌祭は幕を閉じた。椅子などの後片付けは自分たちで行い、懇親会は天ぷら・竹輪の肴にビールと地酒であった。これもまた学生時代の思い出である。



平成26年度就職率97.8%!

佐賀大学生の就職事情

もたさちこ
キャリアセンター准教授 森田佐知子

高い就職率の理由

佐賀大学の平成26年度就職率は97.8%と、前年度と同じく、非常に高い水準を維持しています。高い就職率を維持できる理由として、佐賀大学では「面倒見の良い大学」を目指し、キャリアセンターだけでなく、各学部・学科がその専門性や特徴に対応したキャリア教育・就職支援・個別指導を実施していることがあげられます。またキャリアセンターは各センターとも連携し、個々の学生の状況やニーズに応じた就職支援を実施できる体制を作っています。各学部・学科・センターとキャリアセンターが連携しながら、大学全体で就職支援に取り組む体制が、高い就職率の理由だと言えます。

佐賀県への就職事情

学生の就職における地元志向は年々高まっています。しかし地元での就職先と言えば教員か公務員、一部の有名企業しか分からないという学生も多く、教員や公務員だけを目指し、進路が決まらないまま卒業していく学生もいます。一方で、地元佐賀の優良企業からの求人数は年々増加しています。そこでキャリアセンターでは、早期から地元優良企業の情報を学生に提供したり、地元企業・自治体と共に学生を育てるキャリア教育を実施していきます。

すべての学生が納得できる進路を歩めるように

ここ数年、就職活動のスケジュールが毎年変更となっています。その影響で企業の採用情報を見逃し、希望していた企業の選考に参加できなかったケース

もありました。また、佐賀は九州に位置しているため、首都圏などでの就職活動では交通費等予想以上の出費になることもあります。思うように就職活動が進まず、一人で悩みを抱える学生もいます。

キャリアセンターではその年の就職活動スケジュールに合わせたガイダンス・講座等を実施するとともに、一人でも多くの学生が、納得できる進路を歩めるよう最後まで全力でサポートしていきます。今後とも地域の皆様のご指導、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



学生相談風景



合同会社説明会

佐賀大学同窓会は学生の就職支援に取り組んでいます！

佐賀大学同窓会が講師を派遣してきたキャリアデザイン講座も今年で12年目を迎えました。

本年度は、「教員としてのキャリアデザイン」、「民間企業でのキャリアデザイン」、「公務員としてのキャリアデザイン」に3名の講師を推薦しました。

受講生は、佐賀大学の先輩の体験から寄せられるメッセージを熱心に聴き入っていました。学生たちが本日の講話を聞いて、今後の就職活動の一助になれば幸いです。

- 「教員としてのキャリアデザイン」11月30日／講師：窪 淳朗氏（教育学部 小学校教員課程 昭和51年卒）
（福岡市教育センター 研修課 研修指導員）
- 「民間企業でのキャリアデザイン」12月7日／講師：立石 晴久氏（理工学部 知能情報システム科 平成18年卒）
（サイボウズ株式会社 ビジネスマーケティング本部 BPM部アライアンス担当）
- 「公務員としてのキャリアデザイン」12月21日／講師 岩下 幸司氏（農学部 農業土木学科 平成3年卒）
（九州農政局農村進行部 事業計画課 課長）

第19回 佐賀大学大学祭

平成28年11月12日(土)、13日(日)の2日間にわたり、佐賀大学本庄キャンパスにて、第19回佐賀大学大学祭を開催いたしました。ご来場いただいた皆様をはじめ、地域住民の皆様、大学職員の皆様、並びに各サークル・団体の皆様に心より感謝いたします。

第19回大学祭では、例年開催している企画に加え、大学祭を盛り上げるべく「おばけ屋敷」「遊びの広場」の設置を行いました。特におばけ屋敷においては、常時20組を超える待機列ができる大盛況となりました。若年層の方を中心に、実行委員会プロデュースの恐怖体験を楽しんでいただけたと思います。

特設ステージでは、「シューマッハ」さん、「メイプル超合金」さんによるお笑いライブが行われました。現在大ブレイク中の芸人さんということもあり、多くの方に楽しんでいただけたと思います。

毎年恒例の、各サークル・団体による模擬店の出店や活動成果の発表など、普段直接かかわる機会の少ない佐賀大学生の活気あふれる姿を、多くのご来場者様に感じていただけたと思います。

最後になりましたが、第19回佐賀大学大学祭を無事成功させることができたのも、多くの方の協力のおかげです。来年度もよろしく願いいたします。

学園祭中央実行委員会 委員長 吉原 弘将



同窓会の動き (H28.1～H28.12)

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| 2.17 第6回代表役員会 | 26 佐賀大学ホームカミングデー |
| 4.14 第1回代表役員会 | 30 キャリアデザイン講座 講師 窪 淳朗氏 |
| 4.21 春期定例役員会 | 12.7 キャリアデザイン講座 講師 立石 晴久氏 |
| 6.9 第2回代表役員会 | 8 第4回代表役員会 |
| 7.31 佐賀県内地区世話人会 | 21 キャリアデザイン講座 講師 岩下 幸司氏 |
| 9.8 臨時代表役員会 | H29 |
| 10.13 第3回代表役員会 | 1.1 佐大同窓会会報「楠の葉」No26発行 |
| 20 秋期定例役員会 | |
| 11.7 支部強化及び学生支援部会合同会議 | (予定) |
| 19 第24回佐賀県青春寮歌祭 | 2.16 第5回代表役員会 |
| 24 支部強化及び学生支援部会合同会議 | |

同窓会地区総会・懇親会の開催

- 1.23 唐津
- 31 小城・多久
- 7.3 鳥栖基山
- 8.7 三養基
- 7 杵島
- 21 武雄
- 9.3 鹿島・藤津・嬉野
- 10.2 神埼
- 11.20 伊万里

H29 (予定)

- 2.4 有田
- 5 小城・多久

同窓会支部総会・懇親会の開催

- 1.23 鹿児島
- 3.19 熊本
- 8.19 佐賀市役所
- 10.15 筑後
- 29 大分
- 11.4 長崎
- 12 東京
- 19 佐世保
- 26 諫早

H29 (予定)

- 1.20 佐賀大学教職員支部
- 28 鹿児島
- 2.11 関西

ご意見メール等募集

会報についてのご意見をお寄せいただく場合は、郵送のほか電話またはE-mailでも受け付けております。

住所変更等ご連絡のお願い

住所等が変更になられた場合は、必ず同窓会事務局へご連絡ください。

Tel : 0952-23-1253 Fax : 0952-25-5700
E-mail : dousoukai@sadai.jp